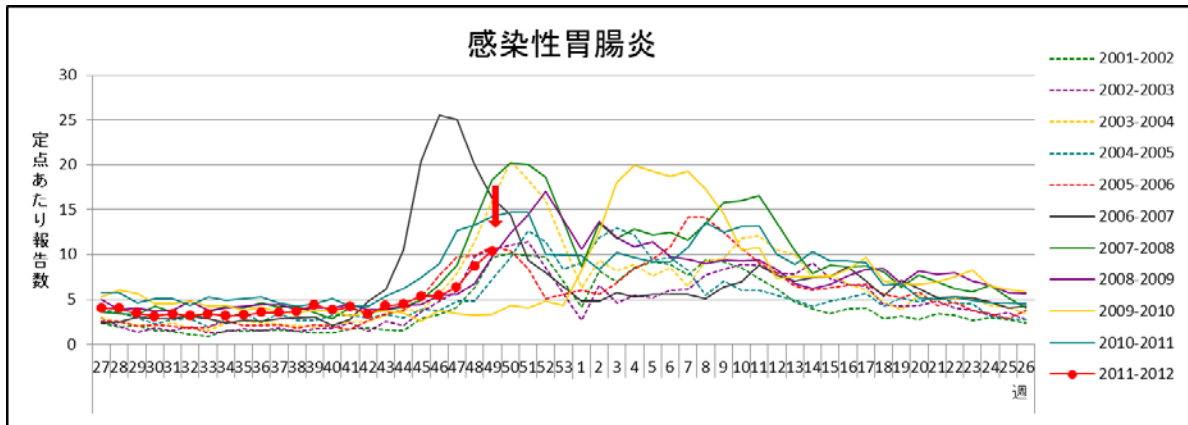


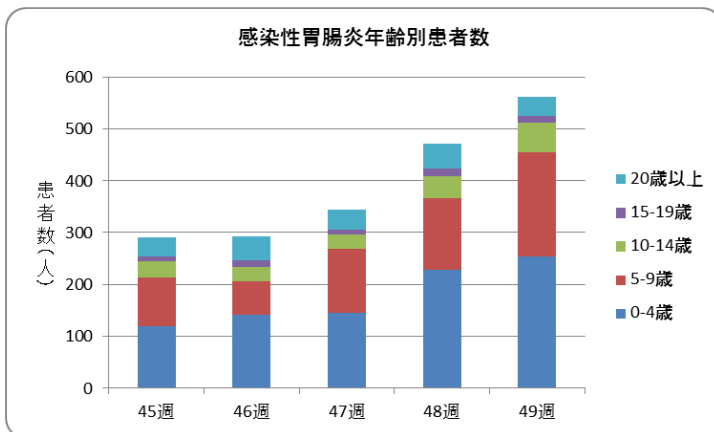
感染性胃腸炎情報 第 49 週 2011 年 12 月 5 日 ~ 12 月 11 日

- 岡山県内の患者報告数は 562 名、定点あたり 10.41 人（定点医療機関 54 定点）に増えました。
 - 岡山市・倉敷市・備前地域など、県南部で患者が増加しました。
 - 感染性胃腸炎による臨時休業（学級閉鎖）が、岡山市・倉敷市・勝央町で各 1 施設ありました。
- 【第 50 週 速報】 感染性胃腸炎による臨時休業（学級閉鎖）が、倉敷市 2 施設・玉野市 1 施設でありました。



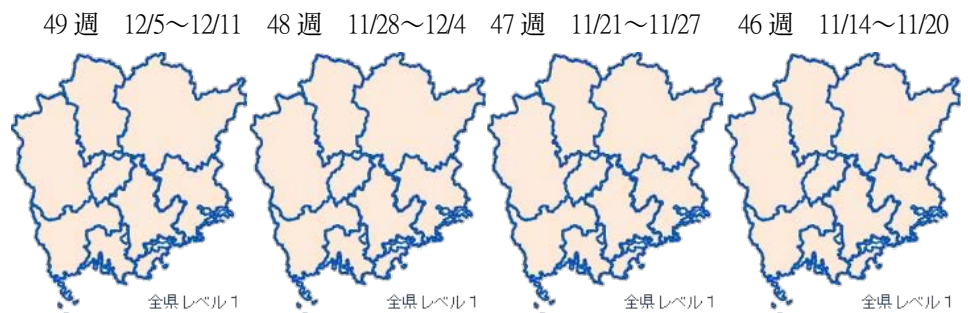
※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、県南部を中心に増加し（定点あたり 8.74 → 10.41 人）、岡山市（12.50 人）、倉敷市（11.73 人）、備前地域（10.20 人）で患者が急増し、美作地域（10.67 人）では患者が多い状態が続いています。第 49 週、感染性胃腸炎による学級閉鎖が岡山市・倉敷市・勝央町で各 1 施設ありました。外出後や食事前の手洗いを徹底し、感染予防に心がけましょう。また、吐物や下痢の取り扱いにも注意が必要です。現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。



患者の年齢分布は 0-4 歳が最も多く、約半数を占めています。中でも 1 歳の患者が多く報告されています。お子さんの体調の変化に注意して、早めに医療機関を受診してください。嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので注意が必要です。

岡山県地区別 感染症マップ 感染性胃腸炎 2011 年 49 週



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。